

Nara for Culture 事業計画(案)

- P1 ■令和8年「Nara for Culture」の実施方針
- P2 ■「ムジークフェストなら2026」～年間計画～(案)
- P3 ■「ムジークフェストなら2026」～有料公演～(案)
- P4 ■「ムジークフェストなら2026」～無料公演～(案)
- P5 ■令和8年「ムジーク・サポート」音楽活動への支援(案)
- 令和8年 広報計画(案)

令和7年11月21日(金) 14:15～15:15
ムジークフェストなら実行委員会事務局



Nara for Culture

3年目

奈良を“クリエイティブ・アーティストが集まる場”へ

⇒ 「若者等が音楽など創作活動に挑戦・成長できる土地」
になることを目指し、継続実施

15年目
(14回目)

【1】音楽祭「ムジークフェストなら2026」

＜実行委員会主催公演(5月中旬～6月中旬)＞

New 日本センチュリー交響楽団公演

New うたたねクラシック公演 等

※ 未就学児等へのアウトリーチ公演は **廃止**

＜民間等主催公演(5～12月)＞

- ・県内ホール、カフェ、まちなか等で開催される
連携・まちなかコンサート

3年目

【2】音楽活動への支援「ムジーク・サポート」

＜中・長期的に実施＞

- ・滞在型演奏指導の開催
- ・ムジーク・アーティストベースの運営
- ・練習場所の提供



【3】Nara for Cultureの広報

以下について広報を展開

- ・「ムジークフェストなら2026」
- ・民間等主催公演との連携
- ・「ムジーク・サポート」

- 実行委員会主催企画は、“クラシック音楽鑑賞が身近に”なるよう企画し、“奈良らしい場所での公演”等を継続。
引き続き“春”（5月中旬～6月中旬）の期間に集中開催。
- 民間等主催音楽イベントとの広報連携は、5月から12月まで実施。

下記3つのポイントで実行委員会企画を構成

①奈良を拠点に活躍する音楽家・オーケストラの招致

【有料公演】

- ・奈良フィル＆公募合唱団
- ・JNO公演（ベルリン・フィルメンバー客演予定）

【無料公演】

- NEW** 奈良で活動する次代を担う演奏家
（NfC 2024推薦アーティストによるオムニバス公演）

②音楽鑑賞を身近に（文化活動の裾野を広げる）

【有料公演】

- NEW** 日本センチュリー交響楽団公演
- NEW** うたたねクラシック公演（有名人MCによるコンサート）

【無料公演】

- ・ストリートコンサート ※まちかどコンサートから改称
- ・クラシック入門コンサート
- ・社寺等のユニークベニュー公演

③学生が主役のユースコンサート

【無料公演】

- ・0歳からのクラシックコンサート
- ・あおぞら吹奏楽

凡例	有料主催公演 @会場名	無料主催公演 @会場名	他団体主催							
4月	5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
広報・準備期間	ムジークフェストなら2026			実行委員会主催 “クラシック音楽の音楽祭”						
	① 奈良フィル & 公募合唱団 @DMG郡山城ホール		① JNO @春日野国際フォーラム～麓～							
	② 日本センチュリー @権原文化会館		② うたたねコンサート (有名人MCあり) @かしはら万葉ホール							
	② ストリートコンサート									
	① NFC 2024推薦アーティスト公演 @なら100年会館		② クラシック入門公演 ユニークベニュー公演							
	③ 0歳からのコンサート (ジュニオケ) @権原文化会館		③ あおぞら吹奏楽公演 @あすか風舞台	民間等主催公演との広報連携を継続						
				【R6年度】 313公演 【R7年8月末時点】 216公演						
	連携・まちなかコンサート									

① 奈良を拠点に活動するオーケストラの公演

奈良フィルハーモニー管弦楽団・県民参加型公演（案）

◇ 奈良を代表する「奈良フィル」と公募合唱団による、県民参加型コンサート

【出演者】 奈良フィルハーモニー管弦楽団
& ムジークフェストなら公募合唱団

【会 場】 DMG MORI やまと郡山城ホール
大ホール（定員832席）

【日 程（予定）】 令和8年5月31日（日）

【委託先】 特定非営利活動法人 奈良フィルハーモニー管弦楽団



©井上嘉和

ジャパン・ナショナル・オーケストラ公演（案）

◇ 世界屈指の海外オーケストラからの客演を招いて実施する、
Japan National Orchestraによる室内楽の本格クラシックコンサート

【出演者】 Japan National Orchestra

【会 場】 奈良県春日野国際フォーラム～薨～ 能楽ホール
（定員500席）

【日 程（予定）】 令和8年6月7日（日）

【委託先】 Japan National Orchestra 株式会社



② 音楽鑑賞を身近に（文化活動の裾野を広げる）

NEW 日本センチュリー交響楽団公演（案）

◇ 日本センチュリー交響楽団による幅広い世代にむけたコンサート

【出演者】 日本センチュリー交響楽団

【会 場】 橿原文化会館
大ホール（定員1,304席）

【日 程（予定）】 令和8年5月23日（土）

【委託先】 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団



©井上嘉和

NEW うたたねクラシック公演（案）

◇ 心地よい演奏とタレントによるMCトークなどを交え、午後のひとときを
ゆったり過ごせるようなクラシック初心者も楽しめるコンサート

【出演者】

ふかわりょう(MC)、遠藤真理(チェロ)
川久保賜紀(ヴァイオリン)、林美智子(メゾ・ソプラノ)
三船優子(ピアノ)ほか

©Yusuke Matsuyama

©Yuji Hori



【会 場】 かしはら万葉ホール
ロマンピアホール（定員849席）

【日 程（予定）】 令和8年5月24日（日）

©Toru Hiraiwa

©Akira Muto

【委託先】 株式会社ジャパン・アーツ

①奈良を拠点に活動する音楽家の公演

NEW NfC2024推薦アーティスト公演(1公演)

◇NfC2024推薦アーティストによる、異なる楽器やジャンルを一度に楽しめるオムニバス形式のコンサート

【出演者】 NfC2024推薦アーティスト(調整中)

【会場】 なら100年会館 中ホール

【日程(予定)】 令和8年5月30日

※写真は全てイメージです



ストリートコンサート(5公演程度)

◇駅前等でコンサートを実施。ふらっと訪れた方でも音楽を楽しむことができる場を創出するとともにムジークフェスト ならの周知も図る。

【出演者】 プロポーザルによる委託業者からの提案により決定

【会場】 駅前等プロポーザル委託業者からの提案により決定

【日程(予定)】 令和8年5月中旬～6月中旬

②音楽鑑賞を身近に(文化活動の裾野を広げる)

クラシック入門コンサート(1公演)

◇指揮者体験や音楽や時代背景を伝えるナレーションを加えた、クラシック初心者にも楽しめるコンサート

【出演者】 天理シティーオーケストラ

【会場】 橿原文化会館 大ホール

【日程(予定)】 令和8年5月17日

【委託先】 天理シティーオーケストラ

※写真は全てイメージです



ユニークベニュー公演(4公演程度)

◇幅広い層が参加できる休日を中心に、大神神社や馬見丘陵公園など、“奈良で開催する音楽祭”の象徴となる公演。

【出演者】 調整中(プロポーザルによる委託業者からの提案も想定)

【会場】 大神神社、東大寺金鐘ホール
馬見丘陵公園、奈良女子大学記念館

【日程(予定)】 令和8年5月中旬～6月中旬

③学生が主役のユースコンサート

0歳からのクラシックコンサート

◇奈良県立ジュニアオーケストラによる未就学児から鑑賞可能なコンサート

【出演者】 奈良県立ジュニアオーケストラ

【会場】 なら100年会館 大ホール

【日程(予定)】 令和8年5月31日(日)

※写真は全てイメージです



あおぞら吹奏楽(1公演)

◇県内の学生等による吹奏楽団体による屋外コンサート

【出演者】 奈良県内の吹奏楽団体、ゲスト等

【会場】 あすか風舞台(明日香村)

【日程(予定)】 令和8年6月7日(日)

【委託先】 一般社団法人奈良県吹奏楽連盟

奈良が「若者等が創作活動に挑戦し成長できる土地」になることを目指し、クリエイティブな音楽活動を支援

① ムジークキャンプ

【概要】

・次代を担う若手演奏家を募集し、JNOメンバーによる滞在型演奏指導を実施

【日程】 令和8年 4日間程度

【会場(予定)】 ※調整中

【実施内容】

・最終日に演奏披露の場を設定
・JNOメンバーと共にアンサンブルを作り上げるプログラムを予定

【委託先】Japan National Orchestra株式会社(指導・練習内容検討)



② ムジーク・アーティストベース

【概要】

・ミートアップ参加者の声を反映し構築
・イベント主催者や音楽家同士を結びつけるプラットフォームを提供
・演奏家の活動支援及び演奏機会の拡大を図る

【日程(予定)】

・令和8年4月～通年運営

【実施内容】

・音楽家個人またはグループごとにフォーカスしたプラットフォームを作成
・音楽家のプロフィールを確認し、演奏依頼を簡単にできる仕組みを構築



③ 演奏家への練習場所の提供

【概要】

・県有施設の空き状況を有効活用し、演奏家への練習場所を提供
・奈良県内の音楽活動の活性化を目指す。
・地域バランスや交通アクセス等から選定した市営1施設を追加予定

【利用期間】

・県有施設利用開始 : 令和8年4月～
・市町営施設利用開始 : 令和8年5月～(予定)

【対象施設】

● 県有施設

・奈良県橿原文化会館(小ホール)
・奈良公園バスターミナル(レクチャーホール)
・なら歴史芸術文化村(ホール)

● 市町営施設(予定)

・なら100年会館(中ホール)
・大和高田さざんかホール(大ホール)
・大淀町文化会館(小・大ホール)
・県北部の市営1施設



令和8年 広報計画(案)

- ① 音楽関係者、県外での認知度向上のための広報を継続実施
例) 音楽専門雑誌(全国版)への広告 / 都市圏での駅構内デジタルサイネージ広報
- ② クリエイティブな音楽活動への支援のための広報を通年実施
再掲) ムジーク・アーティストベースによる広報プラットフォームの提供
- ③ ショート動画(10秒程度)を活用したSNSによる広報の強化 **NEW**

※ムジークフェストならにおける、紙媒体／WEB／SNS等による「実行委員会主催コンサートの広報」や「5月～12月に実施される民間等主催公演との広報連携」も継続。